

10系 寝台車

共通組み立て説明書

注意

お買い上げのお客様へ 必ずお読みください。

- 本商品の対象年齢は15才以上です。対象年齢未満のお子様には絶対に与えないでください。
- 小さな部品があります。口の中には絶対に入れないでください。窒息の危険があります。
- 鋭角の危険がありますので、3才未満のお子様には絶対に与えないでください。
- ペースメーカーをご使用の方は、マグネットカブラー(連結器の部品)を身体に近づけないようご注意ください。
- マグネットカブラー(連結器の部品)は磁石を使用していますので、テレビ・時計・パソコンなどに近づけないでください。磁気で機能異常が起こる場合があります。

組み立てる時の注意

- 取り付け部を無理な方向に曲げたり引っこ張ったりしないでください。
- 部品はプラスチック用ニッパーなどできれいに切り取りましょう。切り取った後のクズは捨ててください。
- 部品の中には、やむをえず、とがった部分がありますので、気をつけて組み立ててください。
- シールは、必要な部分を切り抜いて貼ってください。
- 部品の加工の標の刃物、工具などのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。
- Nゲージ鉄道模型のパーツなどのご使用にあたっては、それぞれの取扱説明書をよく読んで正しく使用してください。

【お買い上げのお客様へ】不都合な点がございましたら、下記までお問い合わせください。

《電話受付先》 バンダイお客様相談センター

(東京) 柏市豊田241-22 ☎ 277-9511 ☎ 04-7146-0371

(西京) 大阪市北区豊崎4-12-3 ☎ 531-0072 ☎ 06-6375-5050

●電話受付時間 月～金曜日(祝日を除く) 10時～16時

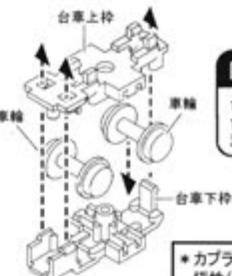
《商品・修理品送付先》 バンダイ 栃木修理・配送センター

栃木県下都賀郡壬生町5-0-8 55-4-67 ☎ 321-0298 ☎ 0282-85-0255

シャーシの組立て

1 <台車の組立>

- 車輪2個をはさみながら、台車下枠の3箇所のツメを、台車上枠に通します。
- 前・後、2組の台車を、それぞれ組み立てます。



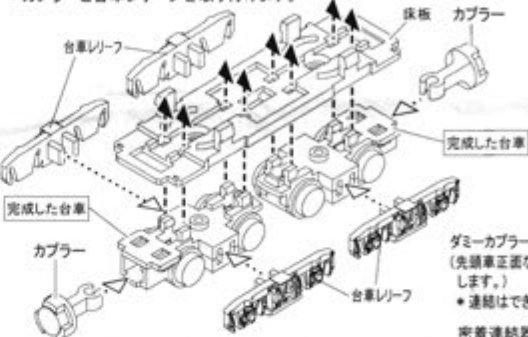
向きに注意!

台車上枠の向き
台車下枠の向きに
注意してください

2 <シャーシの完成>

- 出来上がった台車の4箇所のツメを床板に通します。
- カブラーと台車レリーフを取り付けます。

●カブラーのマグネットには
極性(S・N)があります。
編成を組むときは、向きに
気をつけてください。



台車レリーフの向きに注意。



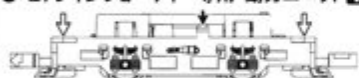
Nゲージ化用パーツの取り付け方法

●各種の交換パーツについては、鉄道模型店、ホビージャップなどでお買い求めください。

* BTレインジョーティは、動力ユニット(別売)を装着することで、Nゲージの線路上を走行させることができます。

①機関車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティ専用・動力ユニット」**1**・機関車用」を使用します。



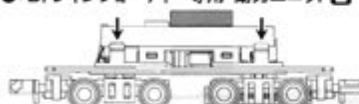
* 床板前後の穴と、左右2箇所の爪で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- スノープロウは着脱可能です。(カブラーポケットの溝に、爪をしっかりと掛けてください。)

* EF200、EF210、DD53などでは、車体長が長い為カブラーの首振り量が充分にできません。普通運転や、極小カーブ、Sカーブ上では、連結が不安定な場合がありますのでご注意ください。

②電車・気動車への動力ユニットの取り付け

●「BTレインジョーティ専用・動力ユニット」**2**・電車・気動車用」を使用します。



* 左右4箇所の爪で、車体と固定します。

- 床板(シャーシ)部分を外して、動力ユニットに交換・装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。(追加重量は、走行状況に応じて使用してください。車内の空きスペースに、両面テープなどで固定します。)

③トレーラー(動力の無い車両)への台車の取り付け

●「BTレインジョーティ専用・走行台車」**3**を使用します。

- 台車部分を外して(床板は付けたまま)、走行台車をセンターピン穴に装着してください。
- 台車側面に、台車レリーフを取り付けてください。
- 旧タイプ床板では、台車の回転止めピンがあります。また、初代床板ではカブラー台座と車輪止め用ピンがありますので、走行台車と当たる部分は切り取って使用してください。

- 台車に取り付けた「台車レリーフ」が走行中に落下しないように、取り付けがゆるい場合には接着剤などを使用して固定してください。
- スカートのある先頭車に、動力ユニットや走行台車を取り付ける場合は、スカートを取り外すか、または台車のカブラー部分を切り取ってから装着してください。

- 各種の交換パーツは、メーカー、形式によって取り付けが異なる(緩い)場合もありますので、それぞれ調整のうえ取り付けください。またパーツによっては加工が必要な場合もあります。
- 動力ユニットの装着には、車両によっては車体側の一部(ガラス、スカートなど)や、動力ユニットの床板などを切り取る等の加工が必要な場合があります。

- Nゲージ用の線路、コントローラーなどは、別途ご用意ください。
- 線路、コントローラーは、各社のNゲージ規格の製品が共通に使用できます。
- Nゲージにおける使用法は、各社・Nゲージの取り扱い説明書をご覧ください。
- 走行条件によって、牽引できる車両の数は変わります。
- 動力ユニット1台で、通常は4両程度を牽引(自車含む)することができます。(勾配区間や急カーブのある線形では、牽引できる両数が制限されます。)

■ KATO製の動力ユニットを使用することもできます。

①機関車用・動力ユニット(スカートは取り外してください。)

品番11-103 ポケットライン用動力ユニット

* EF64e、DF50、DD53など、車体裾の低い車両には装着できません。

* 11-103は、購入時にはカブラーポケットの内側にストッパー(プラ小片)が入っていますので、必ずストッパーを取り外してから装着してください。

②電車・気動車用・動力ユニット(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-105 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-106 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-107 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

品番11-104 チビ客車用動力ユニット

* KATO製「チビ客車用動力ユニット」を使用する場合は、平すりを切り取ってからシャーシと交換・装着します。(車両によっては、車体の一部を切り取る加工が必要な場合があります。)

③トレーラー用・台車(台車レリーフは取り付けできません。)

品番11-099 通勤電車①: コイルバネ台車タイプ

品番11-098 急行電車①: 空気バネ台車タイプ

品番11-097 通勤電車②: ポルスタレス台車タイプ

このほか、新ピン取り付け方式の、各社・台車を取り付けることができます。

■パンタグラフの交換

* お好みのNゲージ用・パンタグラフを別途お買い求めの上、交換してください。

KATO:11-401 PS14:直流/パンタグラフ

KATO:11-403 PS22:直流・下枠変形/パンタグラフ

KATO:11-404、11-420 PS16:直流/パンタグラフ

* 11-420は、屋根穴が4箇所の屋根に対応します。

グリーンマックス:80-2:PS13:直流/パンタグラフ

グリーンマックス:80-3:PT42:直流/パンタグラフ

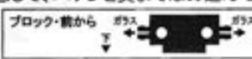
グリーンマックス:80-5:PT43:直流/パンタグラフ

クロスポイント:PT71C:シングルアーム/パンタグラフ

このほか、取り付けピンが縦2本方式の、各社・パンタグラフを取り付けることができます。



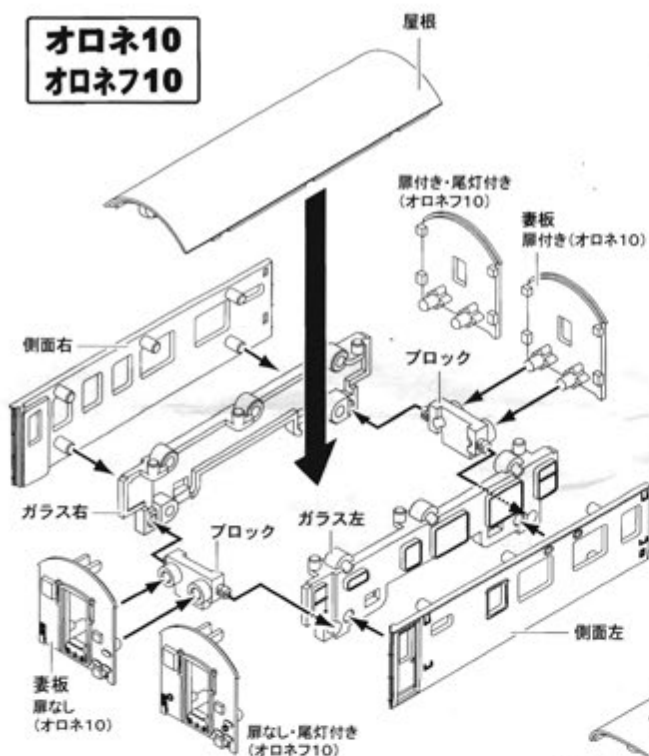
車体の組立て

- ①左右のガラスの前後にブロックを取り付けます。
*ブロックの上下の向きに注意して、パチンと奥まではめ込んでください。

- ②屋根を取り付けます。
(パンタ付きの車両はパンタグラフを取り付けます。)
- ③妻板を取り付けます。
(先頭車は後方1枚、中間車は前後2枚取り付けます。)
- ④左右の側面を取り付けます。
- ⑤シャーシのつめに合わせて車体をかぶせます。
(中間車は完成です。)
- ⑥先頭車は前面を取り付けて完成です。
(スカート付きの車両は、先にスカートを前面に取り付けます。)

*取り付け部が固い場合があります。その場合にはドライバーの先などを利用して、しっかりと取り付けてください。

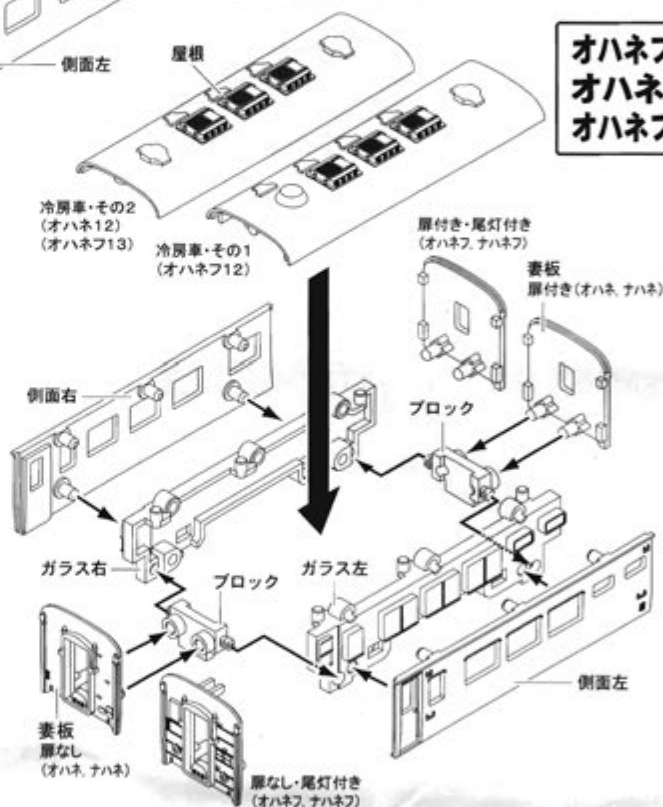
*取説に記載されている車両は、バリエーション内の一部です。正面パーツ、屋根パーツなどは、車種・塗装によってセットされているパーツが異なりますのでご注意ください。

オロネ10 オロネF10



*オロネF用妻板は、青色のみに付属。

オハネF12, オハネ12, オハネF13



冷房車・その2
(オハネ12)
(オハネF13)

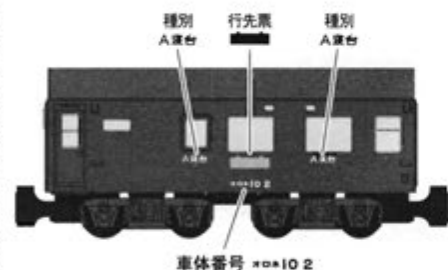
冷房車・その1
(オハネF12)

シールの貼り付け位置

車両番号について

旧型の客車では、蒸気暖房装置が標準的に装備されていたが、新たに電気暖房装置を併設した車両は、原番号に+2000を加えた番号に変更して区別しました。
東北、北陸地区以北の車両を中心に改造されました。

*シールは、必要部分を台紙から切り抜いて、貼ります。
(刃物のお取り扱いにはご注意ください。)



実車の編成例

*時期によって、編成や車体形状は変化していますのでご注意ください。

■1973年3月14日「急行瀬戸2号」宇野～東京
宇野—

(オユ12)	(スロ54)	オロネ10	オハネ12	スハネ16 *1	スハネ16 *1	(オシ16)	スハネ16 *1	スハネ16 *1	スハネ16 *1	スハネ16 *1	スハネ16 *1	オハネ12	オハネF12
--------	--------	-------	-------	-------------	-------------	--------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------------	-------	--------

→東京

■1978年8月28日「急行津軽3号」上野～青森
上野—

(オユ10)	オハフ45 *3	オハネ12	オハネF12	(スロフ62)	オロネ10	オハネF12	オハ46 *2	オハ46 *2	オハ46 *2	オハ46 *2	オハ47 *2	スハフ42
--------	-------------	-------	--------	---------	-------	--------	------------	------------	------------	------------	------------	-------

→青森

■1978年10月2日「急行津軽3・2号」上野～青森 10系寝台車+12系客車
上野—

オハネF12	オハネ12	(スロフ62)	オロネ10	オハネF12	オハフ13	オハ12	オハ12	オハ12	オハ12	スハフ12
--------	-------	---------	-------	--------	-------	------	------	------	------	-------

→青森

■1980年8月7日「はやたま」天王寺～名古屋
天王寺—

オハネF12	オハネ12	(ナハフ10) *3	オハ47 *2	オハ47 *2	(オハフ33) *3	(スユニ61)
--------	-------	---------------	------------	------------	---------------	---------

→名古屋

*1:オハネ12で代用

*2:スハ43で代用

*3:スハフ42で代用

車体番号

10系寝台

40410 3	40410 4	40410 14	40410 14	40410 1	40410 1	40417 146	40417 146		
40410 5	40410 6	40410 21	40410 21	40410 2046	40410 2046	40417 2046	40417 2046		
40410 2016	40410 2016	40410 24	40410 24	40410 56	40410 56	40417 402	40417 402		
40410 22	40410 22	40410 506	40410 506	40410 804	40410 804	40417 2407	40417 2407		
40410 2046	40410 2046	40411 12	40411 12	40411 601	40411 601	40417 2414	40417 2414		
40410 2067	40410 2067	40411 44	40411 44	40411 602	40411 602	40416 22	40416 22		
40410 304	40410 304	40411 48	40411 48	40411 2410	40411 2410	40416 2009	40416 2009		
40410 303	40410 303	40411 51	40411 51	40412 2012	40412 2012	40416 2174	40416 2174		
40410 1	40410 1	40412 18	40412 18	40412 2013	40412 2013	40416 204	40416 204		
40410 2001	40410 2001	40412 19	40412 19	40412 2013	40412 2013	40416 302	40416 302		
40410 2004	40410 2004	40412 14	40412 14	40412 2072	40412 2072	40416 312	40416 312		
40411	40411	40412 14	40412 14	40412 2094	40412 2094	40416 2001	40416 2001		
40412	40412	40412 202	40412 202	40412 348	40412 348	40416 2401	40416 2401	40416 440	40416 440
40410	40410	40410	40410	40412 2008	40412 2008	40416 400	40416 400	40416 440	40416 440
40410	40410	40410	40410	40412 2016	40412 2016	40416 440	40416 440	40416 440	40416 440
40410	40410	40410	40410	40412	40412	40416	40416	40416	40416
40410	40410	40410	40410	40412	40412	40416	40416	40416	40416